Panasonic®

トイレ手洗い収納 アラウーノ手洗い

天　袋

（品番：GHA7W□□）□□：色品番

施工説明書

■ 施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。
■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

⚠注意 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）

してはいけない内容です。　実行しなければならない内容です。

⚠警告

必ず守る

- **キャビネットの固定は、壁構造を確認し、指定の位置に固定木桟があることを確認する**
  （守らないと、落下によるけがの原因となります。）

⚠注意

必ず守る

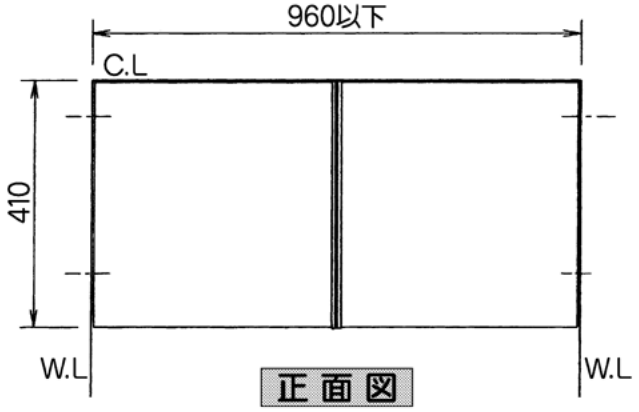
- **施工後は、扉などのがたつきがないことを確認する**
  （守らないと、扉が落ちてけがをするおそれがあります。）

1 同梱部品

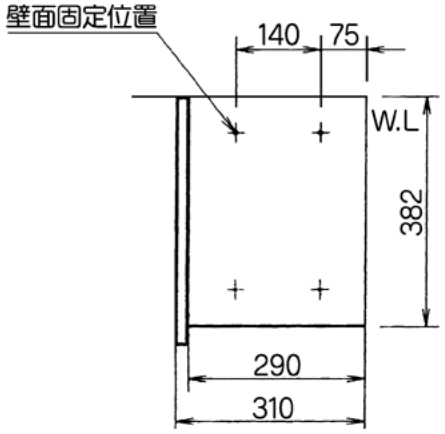
●開梱後、まず同梱部品を確認してください。

側　　板	(左右各1枚)	扉モール固定ねじ	〈φ3.1×13〉(6本)
扉	(左右各1枚)	底板固定ねじ	〈φ3.5×16〉(2本)
底　　板	(1枚)	壁面固定ねじ	〈φ4.5×63〉(8セット)
扉　モ　ー　ル	(2本)	扉当りゴム	(2個)

2 組立図



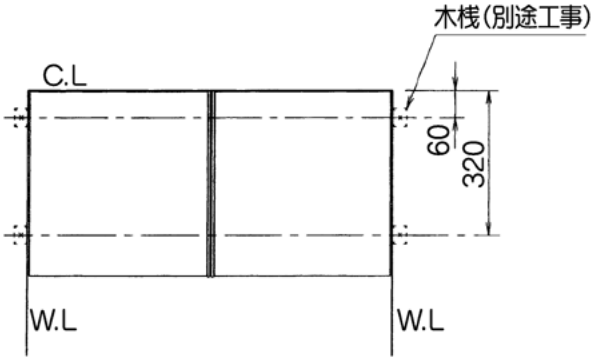
正面図



側面図

3 施工前の確認

●木桟位置などの確認



お願い

●壁面がコンクリート・タイルの場合固定用ねじ径に適合した市販のプラグを使用してください。

●壁面前に木桟を取り付けるか、12㎜以上の合板を貼り付けてください。

お願い

■扉を開けたとき、室内の照明器具などにあたらないか確認してください。

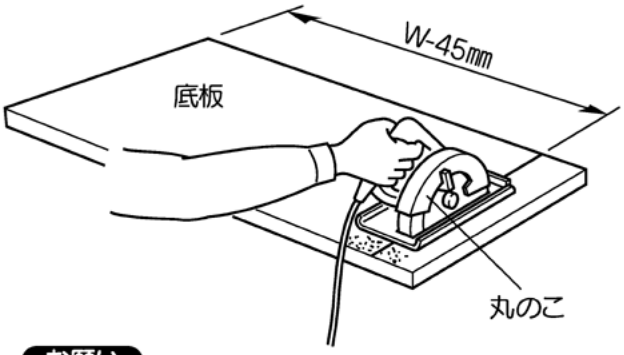
■天袋の落下は、大変危険ですので取付位置に木桟があるか確認してください。

■天井廻し縁がすでにある場合は、はずすか、さけて取り付けてください。

4 施工手順

1 底板を下記の寸法に切断する

※Wは、天袋取り付け幅全長。

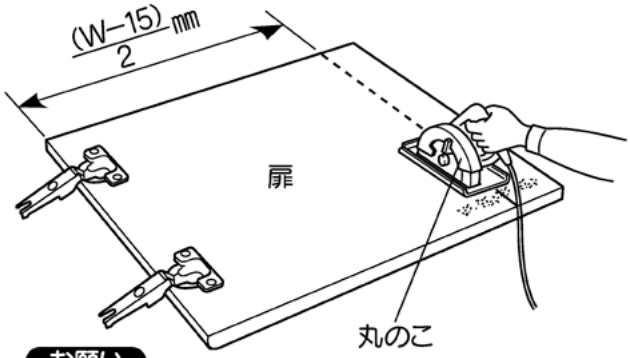


お願い

※底板が傷付かないように、クッションなどをひいてください。

2 左右の扉を下記の寸法に切断する

※Wは、天袋取り付け幅全長。

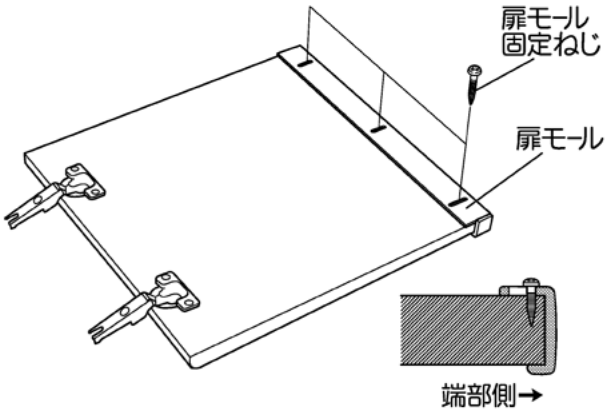


お願い

※扉が傷付かないように、クッションなどをひいてください。

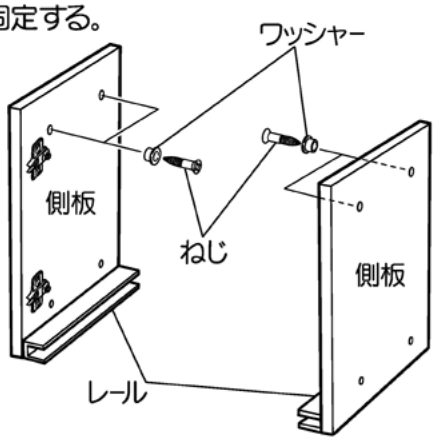
3 扉モールを、扉切断面に固定する

1. 扉を、扉モールの奥まで差し込む。
2. 図のように長穴の端部側に、ねじで取り付ける。



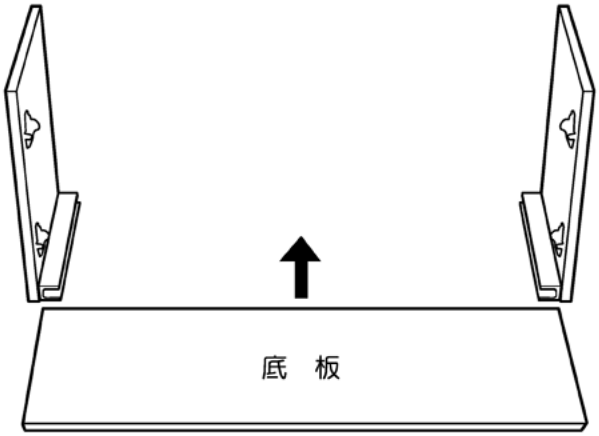
4 側板を左右の壁に仮取り付けする

1. レールが下となるように側板を設置する。
2. 左右とも上の2か所の大きい穴にねじで仮固定する。



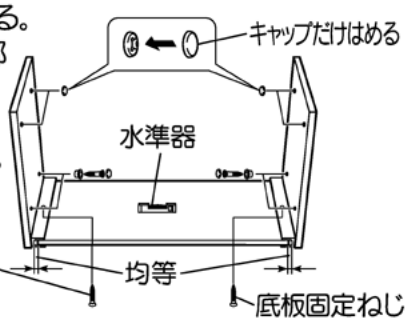
5 底板を差し込む

底板を側板のレールに、奥まで差し込む。



6 側板、底板を取り付ける

1. 差し込んだ底板の、左右のレールとのすき間を均等にし、水準器で水平を確認してから、側板をねじで固定する。
2. 側板レール下部から底板を左右各1か所ねじで止める。

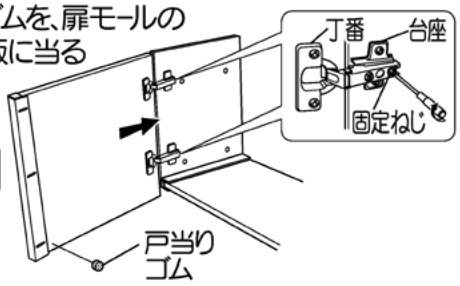


お願い

※天袋の落下は、大変危険です。
確実に固定されているか、確認してください。

7 扉を取り付け、戸当りゴムを付ける

1. 扉の丁番を、側板の台座に接続する。
   （扉の長い側が下にくる。）
2. 戸当りゴムを、扉モールの横の底板に当る位置に付ける。
   （扉下端より40㎜の位置）



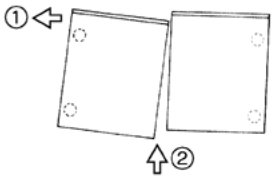
お願い

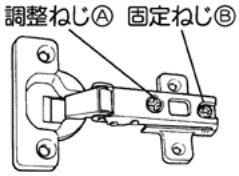
※扉の落下は、大変危険です。
丁番を台座に奥まで差し込み、固定ねじを締め付けて扉のがたつきがないか確認してください。

8 扉の傾きを調整する

（扉同士の隙間は2㎜程度を目安にする。）

1. 丁番で調整する
   左扉の段違いのとき



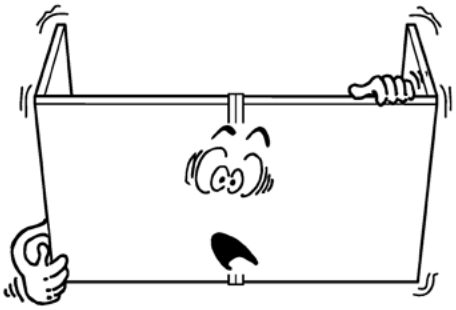


①左扉の上丁番の調整ねじⒶを左側にまわす。
②左扉の下丁番の調整ねじⒷを右側にまわす。
（左扉の調整だけで直らない場合は、右扉も調整してください。）

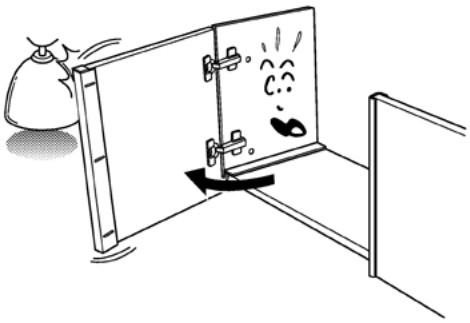
2.それでもできない場合は、扉モールにて調整する。

5 点検（仕上）

1 がたつきがないかを確認する



2 扉があたらないかを確認する



3 きれいに清掃する

お願い

表面がおかされたり、変色するおそれがありますので、清掃するとき、シンナーなどの有機溶剤を使用しないでください。

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社
水廻りシステム事業部
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co.,Ltd. 2022

B1208-30422